

～ 新 入 生 の 皆 さ ん へ ～

2020年4月2日 大阪電気通信大学

学長 大石 利光

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。学長の石です。

本日、入学式の会場で皆さんにお会いできるのを楽しみにしておりましたが、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の状況を鑑み、断腸の思いで入学式を中止と致しました。

本日のこのおめでたい日を集って共に祝いすることができず、本当に残念ですが、大阪電気通信大学は、全学を挙げて皆さんを歓迎いたします。

本学は、開学以来『人間力と技術力を兼ね備えた人材の育成』をミッションとした「実学教育」に邁進し、今日までに、59年の歴史を刻み、これまで、5万2千人を超える卒業生を社会に送りだし、多くの方が社会で活躍されておられます。その先輩方に続き、本日から皆さんは、大阪電気通信大学の一員として、それぞれのキャンパスで大学生活を送っていく事になります。今は新たな学びへの期待と不安に、胸を膨らませていることと思いますが、これまでに、身に付けた力をベースに、より幅広く、より深く、より専門的にそれぞれの学部、学科で学び、4年後、全員笑顔で卒業式を迎えて欲しいと願っています。

さて、ある学生に、『私は勉強が嫌いです。無理に嫌な勉強をしなくても、好きな事、得意な事に打ち込んでいる方が充実した人生を送れると思うのですが、なぜ勉強しないといけないのですか?』と質問されました。皆さんはどうですか?勉強は好きですか?何故勉強するのか?これについてお笑いタレントのカズレーザーさんが良いコメントをしています。『受験だけで勉強を使うのであれば、人生において勉強は必要ないかもしれない』『だけど、勉強ができないと就けない仕事も世の中にはいっぱいある。勉強が必要ないという人は勉強を必要としない仕事にしか就いていないはず』『どちらが良い、悪いではない。勉強できた方が選択肢は増える。だからした方がいい』と語っていました。

また、IBMのメインフレームシステムの開発者として有名なフレデリック・ブルックスは、『自分の力量に見合った仕事を求めてはならない。仕事に見合った力量を求めべきである』と言っています。新入生の皆さんが将来の仕事に見合う力量を今求めるとするならば、現時点では勉強する事が最良の選択だと思います。

人間がただ一つ自由自在にコントロールできるものは、未来です。

そして未来のあなたを助ける人、それは今のあなたです。皆さんが本学での4年間をどのように過ごすかで、来るべき未来は変わってくると思います。

幸い本学には、皆さんを指導しサポートする本学自慢の優秀な教授陣と、恵まれた教育研究環境が整っています。その環境をフルに活用して、お一人お一人が、勉学に励み、将来の姿を真剣に考え、来るべき未来に向け、充実した学生生活を過ごされることを期待し、私の告示とさせていただきます。

本日は、ご入学おめでとうございます。